

歴史と文化とつながり

暮らせるまち

歴史・文化財



野上八幡宮



十三神社

令和3年に実施された第1回 大学入学共通テスト2021の日本史Bに紀伊国那賀郡神野真国荘に関する史料と絵図に関する問題が出題されました。町の歴史を理解する上で貴重な史料や絵図が大学入学共通テストの問題に取り上げられたことは嬉しいことです。

まちの歴史が大学入学共通テストに出題



善福寺のカヤ



泉福寺の梵鐘



熊野神社 石造宝篋印塔(左上)



弘法大師の押し上げ岩



長谷丹生神社の大銀杏



ブドウハゼの原木



金滝の甌穴

紀美野町には先人たちによって保護され、生活の一部として今日まで受け継がれてきた多くの文化財があります。

その中で、国の重要文化財には、野上八幡宮の本殿、拜殿をはじめ5棟の社殿や、泉福寺境内にある和歌山県最古の梵鐘のほか、桃山時代の社殿建築様式を今に伝える十三神社の本殿をはじめ3棟の社殿などが指定されています。

県の重要文化財に指定されているものとして、熊野神社の石造宝篋印塔があります。これは平安初期の征夷大將軍坂上田村麻呂を偲ぶものとして「將軍塚」と呼ばれています。また、県指定の天然記念物として、長谷丹生神社の境内にある幹囲5.5m、樹高22mの大銀杏や急流の川底の岩面にできた鍋状の穴に小石が流転し岩面を削ってできた釜滝の甌穴、推定樹齢800年で幹囲約7m、樹高20m以上の善福寺のカヤ(雌株)などがあります。近年では2017年に地元高校生らによって発見された木が、以前県の天然記念物に指定されていた「ブドウハゼの原木」であることが分かり2020年に再指定されました。

そのほかにも弘法大師の伝説とともに残る弘法大師の押し上げ岩など数多くの歴史・文化にふれる機会がたくさんあります。

History and Cultural Properties

Kimino Town is home to many cultural assets, including National Important Cultural Properties, Prefectural Important Cultural Properties, and natural monuments designated by the prefecture, which have been protected by our predecessors and passed down as part of our daily lives.

